

研究部通信

発行: 令和3年10月8日(金)

文責: 研究部

第5号

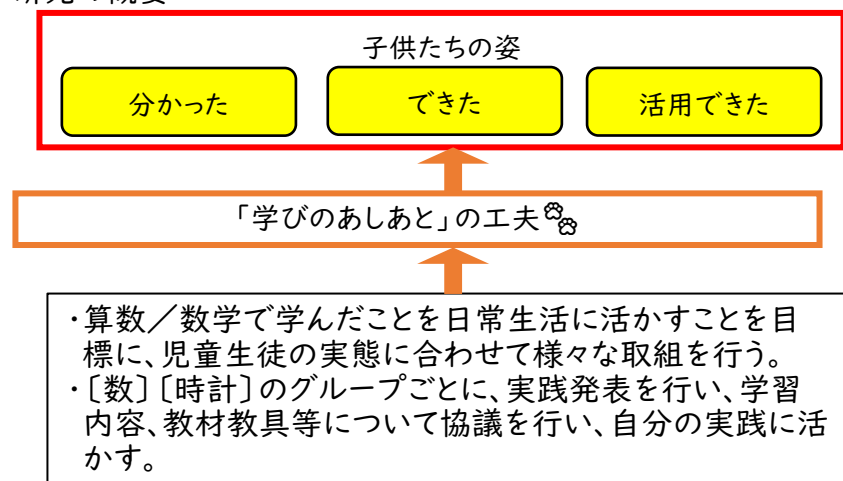
グループ研究 各グループの研究紹介 ～第2弾 算数/数学Aグループ～

グループ研究、お世話になっています。今回は、算数/数学Aグループの紹介です。

テーマ

日常生活と結びつきの深い算数/数学の授業の展開

研究の概要



研究の流れ

【1学期】
児童生徒の実態について〔数〕
〔時計〕

【2学期】
取組報告〔数〕〔時計〕

【3学期】
研究のまとめ



★「学びのあしあと」をどのように残すか検討、実践

【1学期】児童生徒の実態について

7月5日は〔数グループ〕の2人、20日は〔時計グループ〕の2人の先生方に担当する児童生徒の実態について、右図のシート(グループ共通で使用している「目標・記録シート」)を用いて、説明していただきました。

実際の授業の様子を撮影した動画を見たり、使用している教材を紹介したりしていただきながら実態を共有していく中で、見えてきた課題や高等部卒業後を見据えた今後の取組について協議をし、2学期以降の実践に繋げていくために、学習内容の改善や、教材教具の工夫について話し合いました。

算数/数学Aグループ

【主テーマ】
児童生徒の「わかった!」「できた!」「活用できた!」の実現を目指した授業作り

【サブテーマ】
学習内容の定着を目指した「学びのあしあと」の工夫

【算数/数学Aグループ ～テーマ～】
日常生活と結びつきの深い算数/数学の授業の展開

1 個別の指導計画(算数/数学)の目標

2 日常生活での数学的課題に対する目標

3 記録

日付	様子
✓	
✓	
✓	
✓	
✓	
✓	
✓	



対象児童生徒 (小5) Aくん	担任 黒川先生
日常生活での数学的課題に対する目標(1年間)	補助具を使うなどして、後〇分間が分かり、行動にうつす。
1年間の算数の目標	時計を読むことができる。

【現在の様子 (実態把握)】

・10分刻みで時刻は読めるが、5分刻み、1分刻みで読むことは難しい。

【現在の取組】

- ・5分刻みで時計を読むことができるよう、時計の数字(1～12)を見て〇分を指すか答える学習を行う。(プリント、カードなど)
- ・5分刻みの読みと針合わせ学習をクイズ形式で行う。(下写真)



【今後の取組】

- ・現在の学習を継続して実施。
- ・1分刻みの読みと針合わせにも取り組んでいく。



対象児童生徒（高2）Bさん	担任 安藤先生
日常生活での数学的課題に対する目標（1年間）	休憩時間が分かり、時計を見てトイレに自分から行く。
1年間の数学の目標	5分刻みで時刻を読む。

【現在の様子（実態把握）】

- ・〇時ちょうど、〇時30分は、読むことができるが、5分刻み、1分刻みの時刻を読むことは難しい。

【現在の取組】

- ・iPad アプリ“とけいパズル”（時計くみたてパズル）を使用。
→時計の文字盤（1～12）を合わせる。
→数字を見て、時計の針を合わせる。
→時計をよむ。



【今後の取組】

- ・時計の学習を継続して行う。
- ・数順の理解が不十分な部分があるため、1～60までの数の学習に取り組む。

2
13

対象児童生徒（高1）Cさん/Dさん	担任 和田先生
日常生活での数学的課題に対する目標（1年間）	数順が分かり、見通しをもって、順番通りに活動に最後まで取り組む。
1年間の数学の目標	簡単な数が分かり、数えたり計算をしたりする。

【現在の様子（実態把握）】

- ・1～10までの数字を読んだり、数を数えたり、できるが10より大きい数は難しい。
- ・計算全般が難しい。
- ・周囲の状況理解が難しいときがある。
- ・学習に対して意欲が高い。

【現在の取組】

- 自立活動
- ・聞き取った数字を書く。（ワーキングメモリー）
- ・数の視写。
- 数学
- ・カレンダー（今日の日付）
- ・2とばし、10とばしなど、切りの良い数字を10000まで読む。

【今後の取組】

- ・現在までの取組を継続して実施。
- ・作業学習でも数唱を取り入れる。

2
13

対象児童生徒（中3）Dくん	担任 岩下先生
日常生活での数学的課題に対する目標（1年間）	製品の数やおぼんの数を数えることができる。
1年間の数学の目標	具体物を20まで数える。

【現在の様子（実態把握）】

- ・1～10までの数を数えることができるが、10より大きい数は難しい。
- ・引き算は2桁（20まで）－1桁ができる。
- ・11以降の数は言葉で言うことが難しい。
- ・ゲームが好き。iPadの教材も意欲的に行う。

【現在の取組】

- ・iPad アプリ“タッチナンバー”（タッチナンバーくまモンバージョン／数のマッチング）を使用。
- ・iPad アプリ“数あそび”（数字・数え方の幼児向け知育アプリ！かずあそび）を使用。



【今後の取組】

- ・iPadを使った学習に意欲的に取り組んでいるため、継続してICT機器を活用した学習に取り組んでいく。

【今後の流れ】

協議を進めていく中で、教材教具を改良したり、目標を修正したりと新たな発見や学びがありました。2学期のグループ研修では、今後の取組について協議した内容を実践に繋げ、取組報告を行う予定です。

